

令和7年度秋のまちづくり懇談会内容

日 時： 令和7年12月16日(火)18:30～

場 所： カルチャープラザ

出席者： 7人

1開会

2町長挨拶

3懇談

(1) 栗山町第7次総合計画～後期実施計画策定に向けて～資料①

(2) 主要施策の取組状況について 資料②

(3) 事前質問に対する回答

(4) 自由懇談

4その他 別添資料

・くりやま暮らし応援電子商品券のご案内等・・・商工観光課より

・緊急告知FMラジオの企業・事業所配付について・・・総務課長より

・町営バス時刻表(説明なし)

5閉会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■厳冬期の避難所について

町民	夏と冬とでは避難者の数も変わってくると思う。冬場に停電になれば暖をとるために避難して来ると思う。道の30%の考えは非常に疑問に思う。カルチャープラを例にとると、11町内で1,000人いたとして300人だけは入れても他の700人はどうなるのか。回答は必要ないが、よろしくお願ひしたい。
総務課長	夏と冬では雪の問題もあり違うと認識している。3割の想定ではあるが、冬期間の暖房器具も一定期間分備えている。

■避難所運営の職員数について

町民	避難所を増やせない理由に、対応する職員の数不足という話だが、避難所の訓練というものはされていなかったと思う。そういう訓練検討を。
総務課長	一昨年、継立で冬季想定の訓練を実施した。町内会の方にも協力いただいた。今後も実践に即した訓練をしていきたい。

■地域住民の協力も検討を

町民	防災マスターの研修が先日あったが、自分も過去に受講した。避難所の運営に職員が足りないという話があったが、防災マスターを受講後も特に何も連絡ないので、活動ができていない。講習会も誰でも参加できるようにして、町民も活用して欲しい。
総務課長	昨年策定した地域防災計画でも、地域でリーダーを育てるところがあり、地域の防災力を高めたいと思っている。町内会との連携をしていきたいので、よろしくお願ひします。

■熊の情報などについて

町 民	町内会で、町は熊の情報を出しているのかという話になり、町ホームページを調べたら過去の情報も詳細にあったし、栗山公園が閉鎖されていたことも知った。しかし、リアルタイムにはわからなかつたので、栗山公園には毎日行っていた。もっと積極的な周知をお願いしたい。町ホームページのトップに掲載して欲しい。
町 長	熊の周知は、ラジオでも流したが、周知方法については、他の会場からも意見が出されていたので、第7次総合計画の後期計画策定の中でも検討したい。
農林課長	10月にエフエムくりやまと連携して熊情報を周知した。緊急銃猟についてのマニュアルは現在整備中です。今年度は12頭の熊を捕獲し過去最高となった。猟友会とも連携していく。

■地域防災マスターの活用を

町 民	過去に防災マスターを集めて研修をした。ダンボールベッドを使ったり非常食を食べたり。冬に一泊したが、ストーブで十分暖かかった。今後も防災マスターを役立てて欲しい。
総務課主幹	厳冬期の訓練については、来月北見市である訓練に参加予定、それを踏まえ今後どのレベルでの訓練が良いか検討し、来年度の実施を考えています。防災マスターについても今後ご協力をいただきたいと思います。

■災害対策本部について

町 民	栗山町の災害対策本部が立ち上がる基準は。エフエムくりやまでは、災害時には緊急放送を通常の生放送の時間以外でも割り込んで放送している。町にはSNSで情報発信して欲しい。熊の情報も含め情報を流していきたいので連携して行きたい。
総務課主幹	状況によるが、地震の場合だと、震度4で第一警戒体制、震度5で第二警戒体制など、震度6になると災害対策本部設置となる。
総務課長	今後もいろいろな手段で情報発信していきたいので、エフエムくりやまさんは、今後も情報共有していきたい。